

新規・継続等	新規	分野	主要な道路の整備		事業番号	38	事業名	道路改築 (国道・一般改築)												
市町村名	たてしなまち 立科町		箇所名	(国)254号 宇山バイパス			事業年度	H23年度～		H30年度										
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=1,670m w=6.0(8.5)m(バイパス部) w=6.0(10.5)m(現道部)					H22年度末事業進捗率	0%												
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%												
	H23年度実施内容	用地測量 1式、用地買収 1式、橋梁予備設計 1基、ボックスカルバート詳細設計 2基					用地補償費ベース	0%												
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降										
	事業費計(千円)	1,500,000		0		0		100,000		1,500,000										
財源内訳	国庫支出金	825,000		0		0		55,000		825,000										
	その他																			
	県債	472,500		0		0		31,500		472,500										
	一般財源	202,500		0		0		13,500		202,500										
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部		政策評価課									
									ランク	評点	ランク	評点								
	必要性 (25)	計画交通量	10,000台/日以上			1,500台以上～10,000台/日未満		1,500台未満		A	2	A	2							
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある								0	0	0				
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある			駅やインターチェンジが20km以上にある		駅やインターチェンジに通じる路線でない									5	5	5	
			通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である			山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない												2
		観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない				2								2	2		
		各事業特有の必要性(安全の確保)			5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)		5.5m以上6.5m未満(幅員)												6.5m以上(幅員)	
					歩道未整備区間に歩道を設置		歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し								4	4	4	
	小計									19		19								
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)			県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)		該当なし		B	6	B	6							
		設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い			環境配慮がされているが現実性が低い		環境配慮をしていない						4	4	4				
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている			緊急輸送路(2次)又は、奥産、雪害、過疎に位置付けられている		特別な位置づけはない									0	0	0	
	小計									10		10								
	効率性 (15)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0～1.5未満		B/C 1.0未満		A	6	A	6							
		事業効果の早期発現(H20以降事業年数)	事業年数 5年未満			事業年数 5年～10年未満		事業年数 10年以上						3	3	3				
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない									4	4	4	
	小計									13		13								
	緊急性 (25)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		B	5	B	5							
		各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	渋滞箇所が緩和する			渋滞箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する		渋滞対策ではない						4	4	4				
			医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に関係ない道路									9	9	9	
	小計									18		18								
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望		特に要望がない		B	6	B	6							
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知		特に周知していない						3	3	3				
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない									4	4	4	
小計									13											13
費用対効果(B/C)			2.1		評価の合計				B		73		B							73
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は、佐久地方と松本地方を結ぶ広域道路であり、隣接する市町村間の連絡道路でもある。長和町側は既に改良済みであり、隣接する極楽坂工区の供用に伴い、当該箇所が残された唯一の未改良区間となっている。平成23年3月には中部横断自動車道が開通し、現在上田ICから松本・諏訪方面に向かっては開東方面からの物流輸送及び自動車交通が中部横断自動車道佐久南ICから三才山有料道路を経由することが予想され、唯一の未改良区間である本箇所の整備が急務となっている。																		
	地域からの要望経緯	当該箇所が残された唯一の未改良区間となり、集落内(人家連担)を通り、歩道もなく危険性が高いため、地元からの内発的な要望が非常に強い、立科町の全面的な協力を得て事業の実施が待ち望まれている区間であり、平成11年に期成同盟会が発足し、毎年要望を受けている。																		
	事業説明等の経緯	平成2年度より事業説明を行っており、時間をかけて地元地権者に対する説明も実施していることから、計画については周知し、全員の賛同をいただいている。																		
	環境・景観への配慮項目	矢原遺跡があるため埋蔵文化財等の法手続きを進め、歴史的環境への配慮を確実に実施。また、山間地の切り土などには法面の緑化など環境面に配慮する予定。																		
	他事業・プロジェクトとの関連	長野県中期総合計画(事業着手)及び第4次立科町長期振興計画に位置付けられている。東吾妻地域の医療の核となる「A長野厚生連佐久病院の移築に関連して、上田圏域の依田産病院や丸子総合病院との高度医療の連携のために、唯一の未改良区間である当区間の改良が急務である。																		
特記事項	特になし。																			
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他											
部意見	事業の必要性、効率性が高いため、平成23年度から新規事業化したい。					政策評価課意見		必要性が認められる。												